



ユニプレス株式会社
2021年度第3四半期決算報告





2021年度第3四半期決算について

2021年度見通しについて

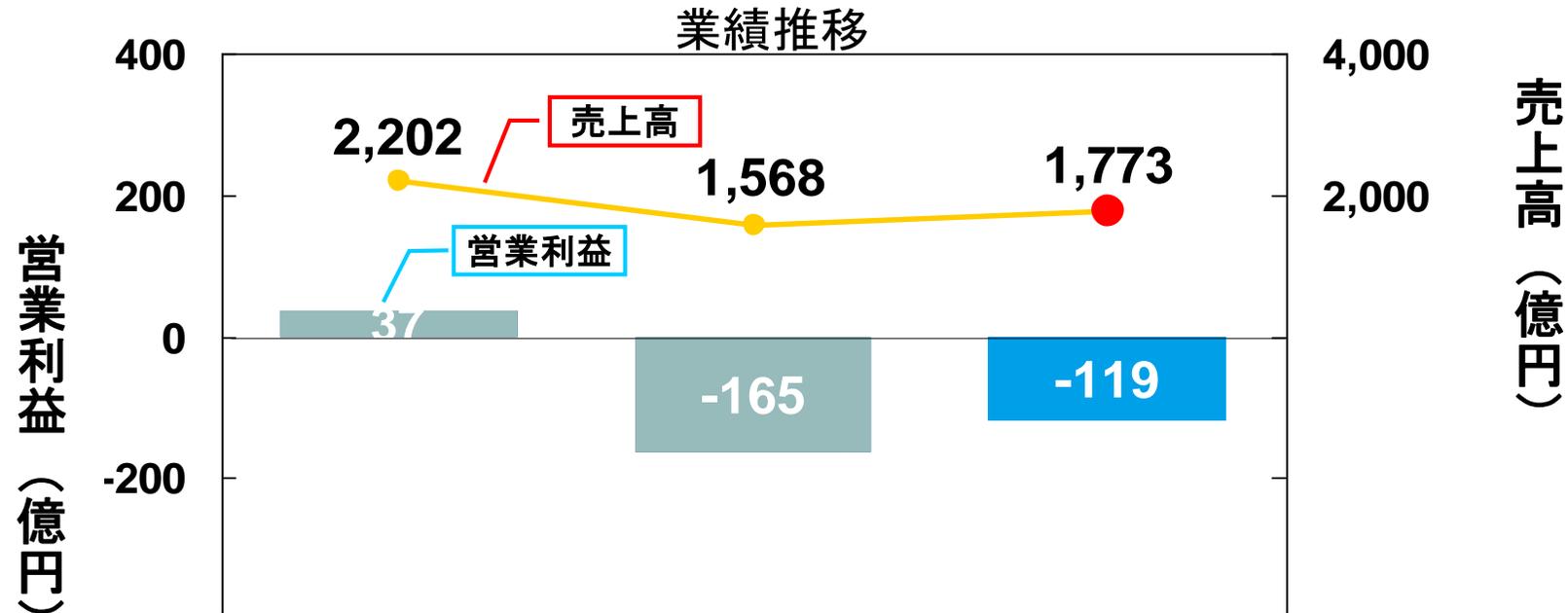


2021年度第3四半期決算について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響からは脱しつつあり、
為替換算影響があったものの、半導体の世界的な供給不足による
得意先の大幅な減産の影響により、売上高は1,773億円にとどまり、
営業利益は119億円の損失

2021年度第3四半期連結決算サマリー

- 売上高は、前年同期比205億円増収（13.1%増）
- 営業利益は、前年同期比46億円の改善



	19年度 第3四半期	20年度 第3四半期 (A)	21年度 第3四半期 (B)	(B) - (A)
売上高	2,202	1,568	1,773	+205
営業利益	37	-165	-119	+46
経常利益	38	-154	-101	+53
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9	-155	-109	+46

製品群別連結売上構成

(億円)

	2020年度第3四半期		2021年度第3四半期		売上高 増減額	構成 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	1,303	83.1%	1,501	84.7%	+198	+1.6%
トランスミッション製品	223	14.2%	236	13.3%	+13	-0.9%
樹脂製品	22	1.4%	21	1.2%	-1	-0.2%
その他	20	1.3%	15	0.8%	-5	-0.5%
合計	1,568	100%	1,773	100%	+205	—

得意先別連結売上構成(日産自動車関連)

- 日産自動車向けの売上減等により、構成比は1.7%減少

	2020年度第3四半期		2021年度第3四半期		構成比 増減	(億円)
	売上高	構成比	売上高	構成比		
日産自動車関連 小計	1,274	81.3%	1,411	79.6%	-1.7%	
東風汽車	303	19.3%	357	20.1%	+0.8%	
北米日産	174	11.1%	222	12.5%	+1.4%	
日産自動車	245	15.6%	202	11.4%	-4.2%	
ジヤトコ(海外拠点含む)	166	10.6%	181	10.2%	-0.4%	
メキシコ日産自動車	171	10.9%	168	9.5%	-1.4%	
欧州日産自動車	69	4.4%	149	8.4%	+4.0%	
日産車体	55	3.5%	51	2.9%	-0.6%	
ルノー日産インドア	17	1.1%	27	1.5%	+0.4%	
タイ日産自動車	40	2.6%	22	1.2%	-1.4%	
マレリ(海外拠点含む)	27	1.7%	20	1.1%	-0.6%	
鄭州日産	1	0.1%	1	0.1%	0.0%	
インドネシア日産	0.1	0.0%	0	0.0%	0.0%	

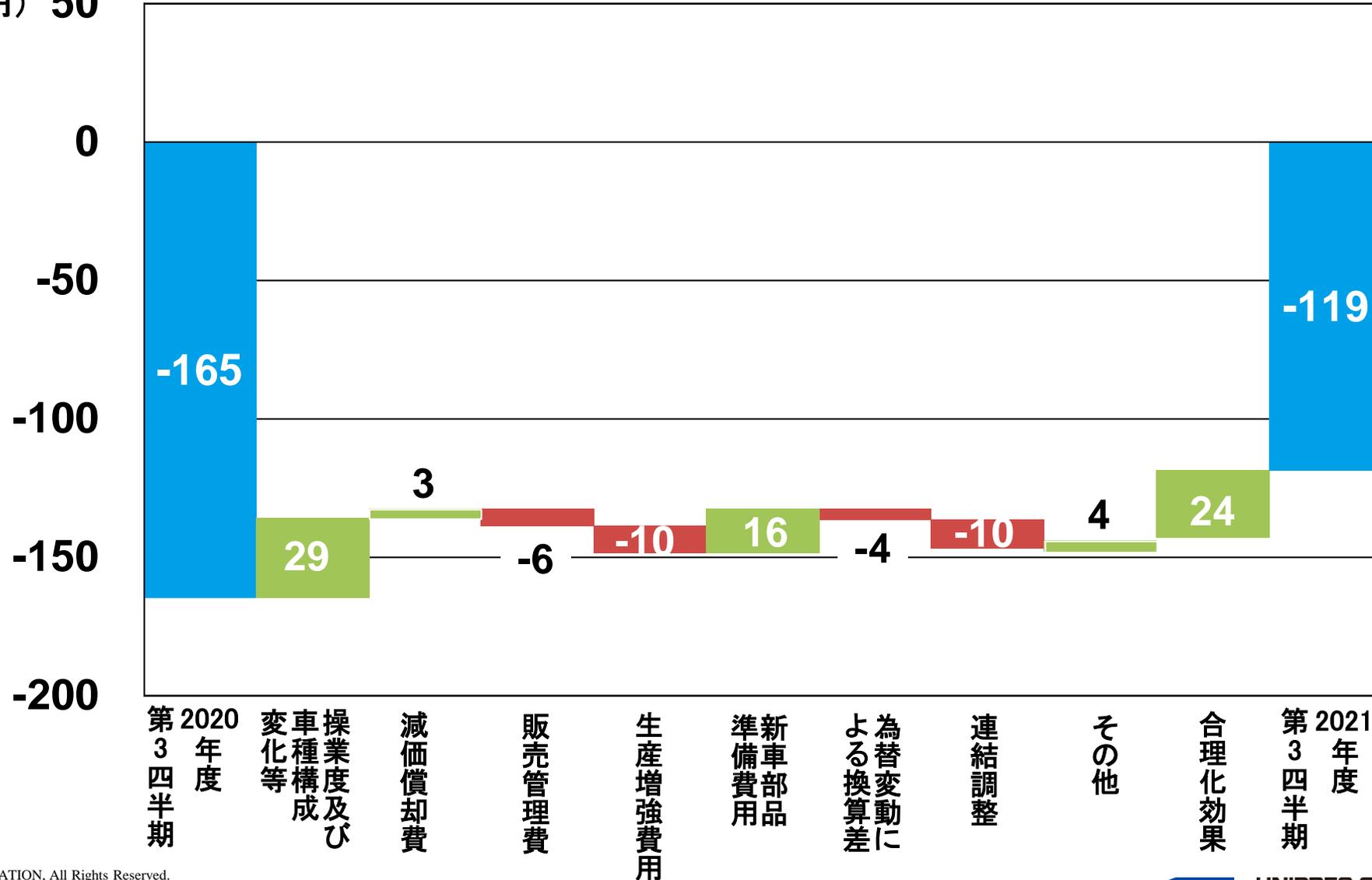
得意先別連結売上構成(日産自動車関連以外)

- 三菱自動車向け売上の増加等により、構成比は1.7%増加

		2020年度第3四半期		2021年度第3四半期		構成比 増減	(億円)
		売上高	構成比	売上高	構成比		
日産自動車関連以外の得意先 小計		294	18.7%	362	20.4%	+1.7%	
内)ホンダ	米国ホンダ	36.7	2.3%	31.9	1.8%	-0.5%	
	英国ホンダ	16.0	1.0%	19.3	1.1%	+0.1%	
	メキシコホンダ	14.4	0.9%	17.3	1.0%	+0.1%	
	本田技研工業	18.1	1.2%	14.7	0.8%	-0.4%	
	インドネシアホンダ	3.5	0.2%	5.4	0.3%	+0.1%	
三菱自動車工業(海外拠点含む)		2.1	0.1%	62.4	3.5%	+3.4%	
PSA		24.0	1.5%	33.2	1.9%	+0.4%	
アイシン・エイ・ダブリュ(海外拠点含む)		24.1	1.5%	20.8	1.2%	-0.3%	
マツダ	マツダ	13.1	0.8%	12.5	0.7%	-0.1%	
	メキシコマツダ	4.1	0.3%	4.8	0.3%	0.0%	
ルノー		29.2	1.9%	19.1	1.1%	-0.8%	
ダイナックス(海外拠点含む)		9.4	0.6%	12.8	0.7%	+0.1%	
SUBARU		7.9	0.5%	6.8	0.4%	-0.1%	
NSKワーナー		3.5	0.2%	3.4	0.2%	0.0%	
スズキ(海外拠点含む)		1.9	0.1%	2.6	0.1%	0.0%	
ダイハツ工業		2.2	0.1%	2.2	0.1%	0.0%	
いすゞ自動車(海外拠点含む)		1.7	0.1%	1.9	0.1%	0.0%	
武蔵精密工業		1.9	0.1%	1.7	0.1%	0.0%	
UDトラックス		1.5	0.1%	1.6	0.1%	0.0%	
日野自動車(海外拠点含む)		1.2	0.1%	1.0	0.1%	0.0%	

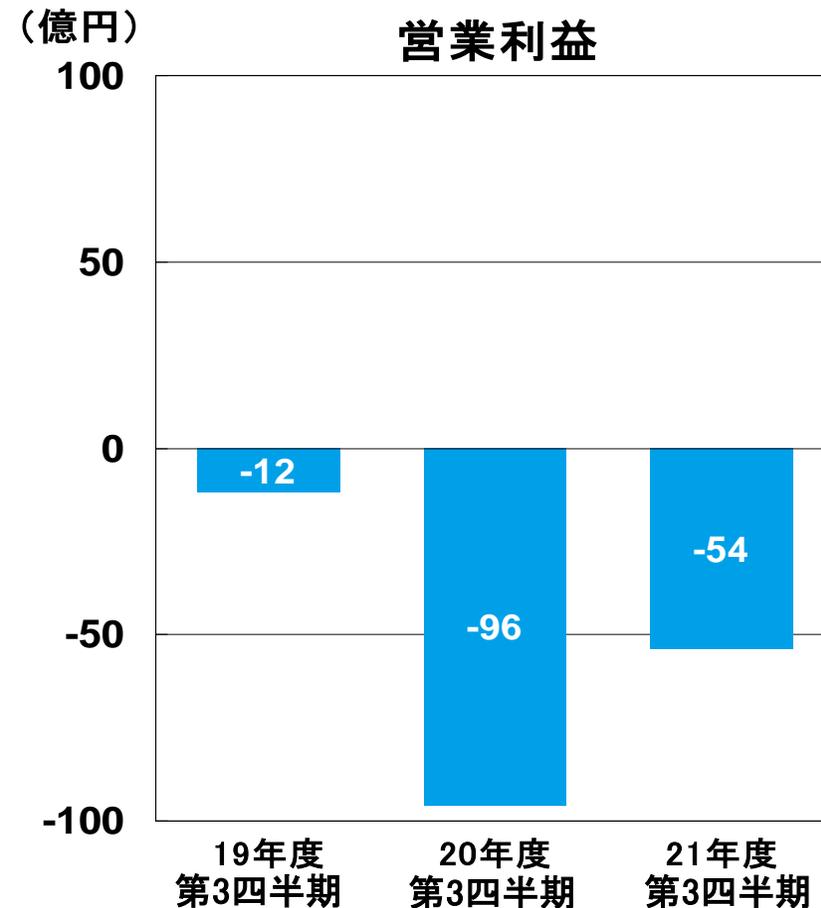
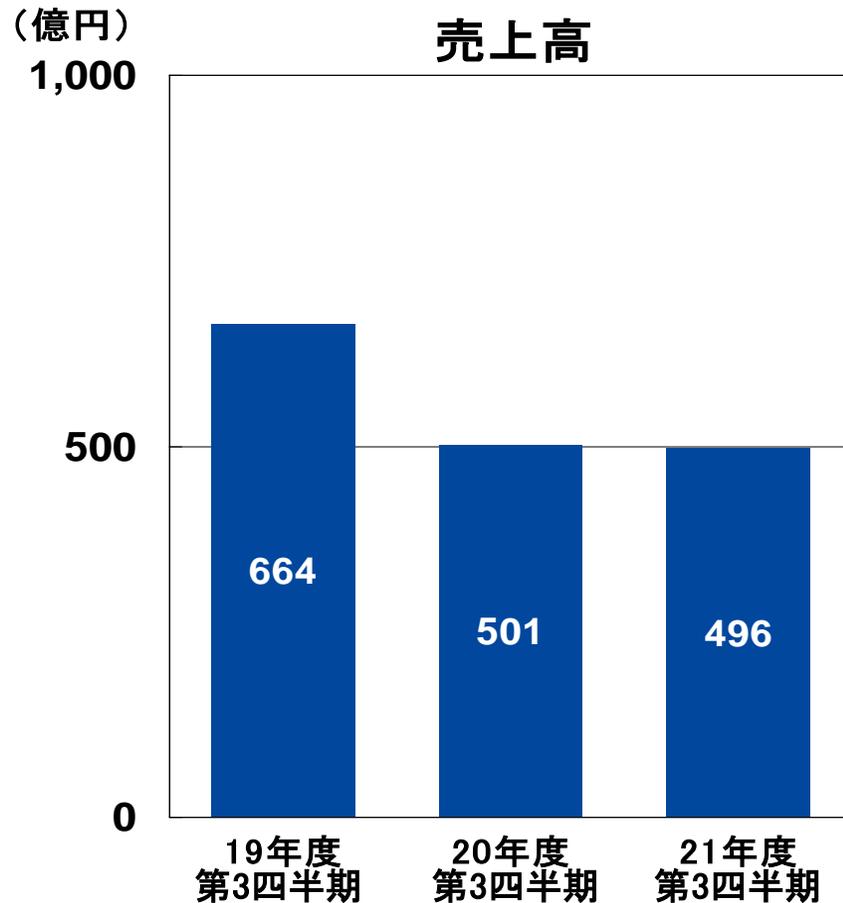
営業利益の増減要因

(億円) 50



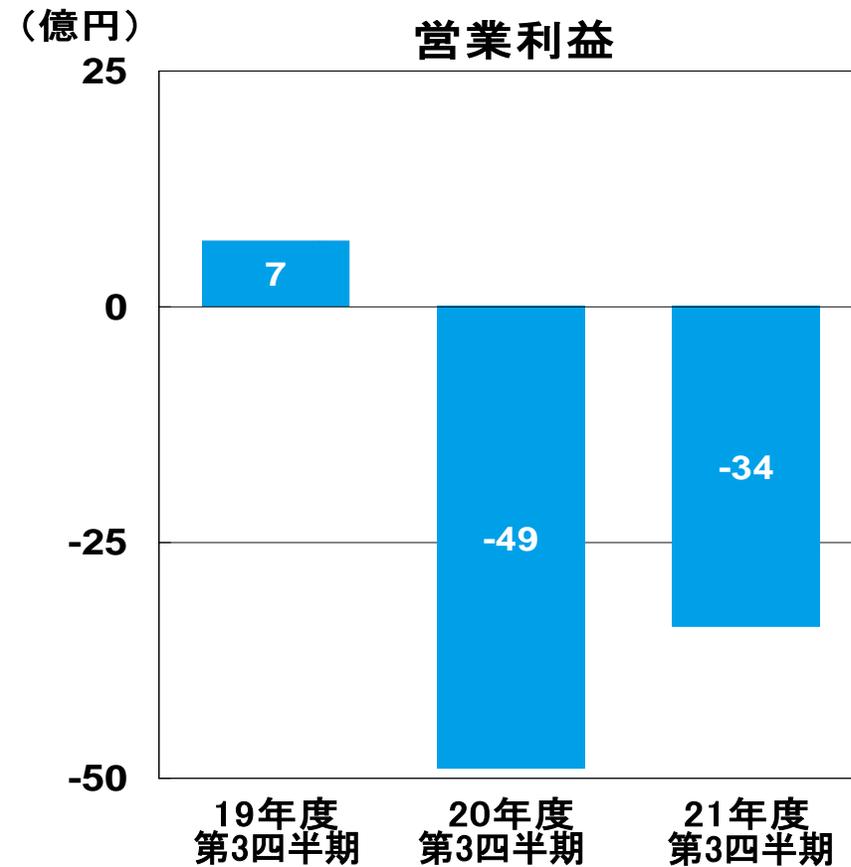
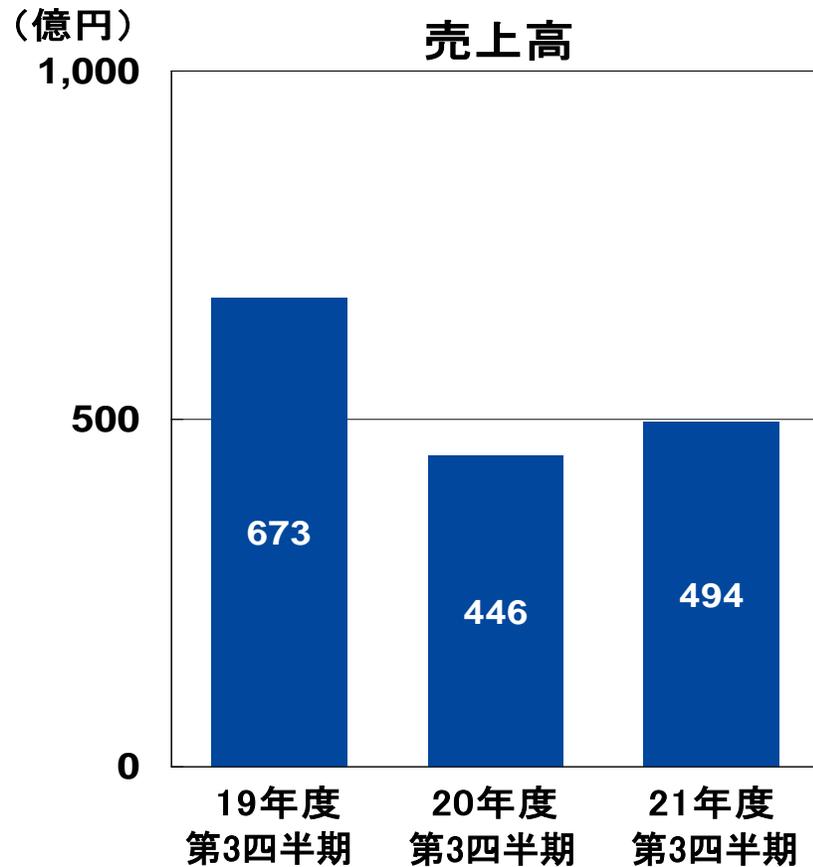
地域別売上高・営業利益(日本)

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下にあった前年の状況からは回復基調にあったものの、半導体の供給不足に伴う得意先の減産影響や金型・設備の販売の減少もあり、微減
- 営業利益は、新車部品立上げ準備費用の削減等により、42億円の改善



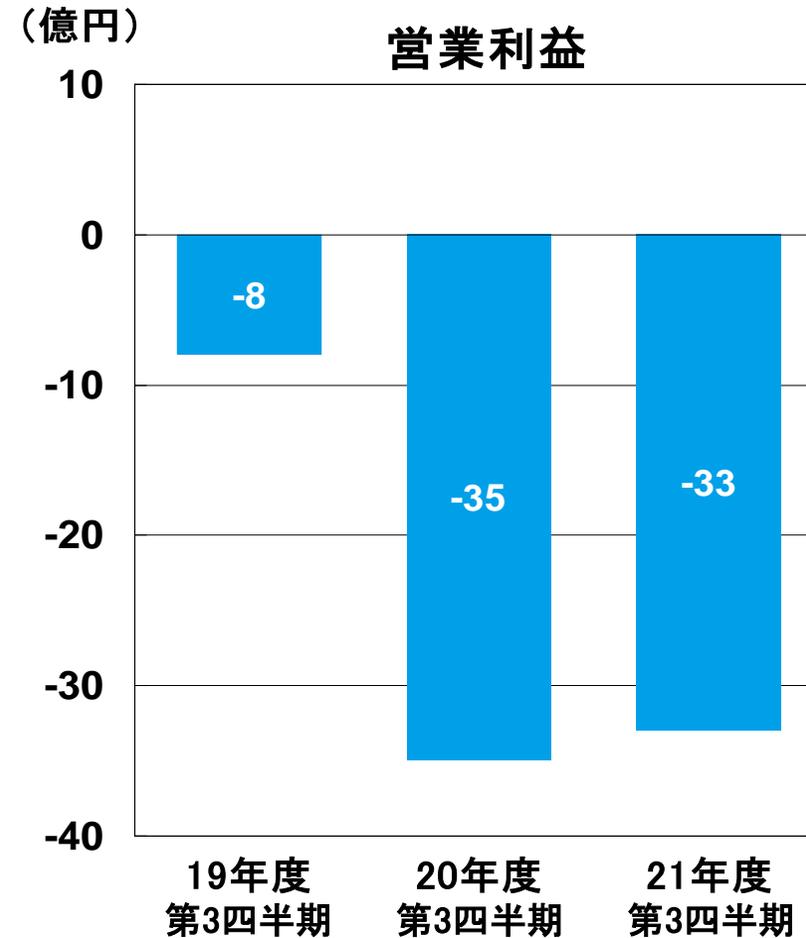
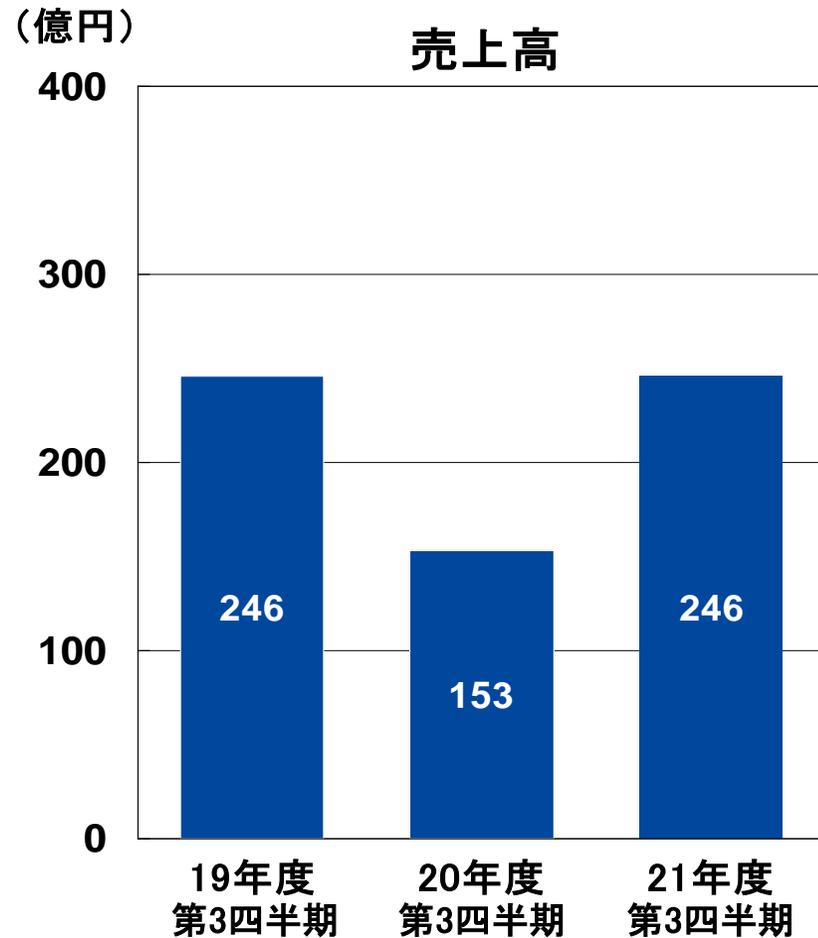
地域別売上高・営業利益(米州)

- 売上高は、半導体の供給不足に伴う得意先の減産影響により、生産水準の大幅な回復には至らなかったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大下にあった前年の状況からは回復したこと、円安による為替換算影響等により、10.8%増収
- 営業利益は、15億円の改善



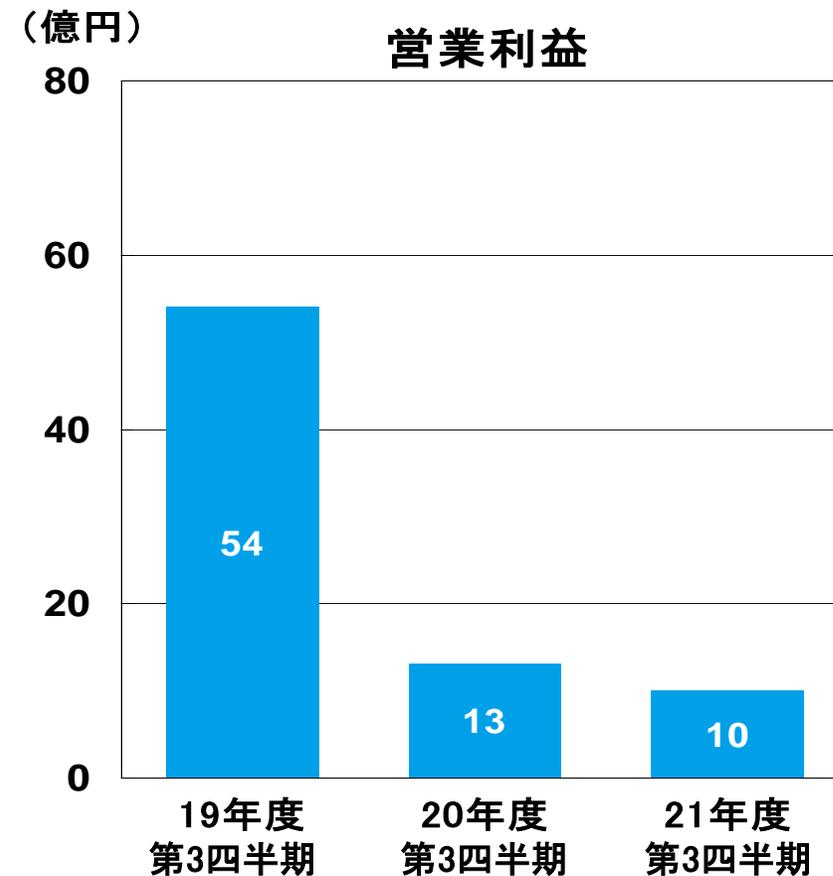
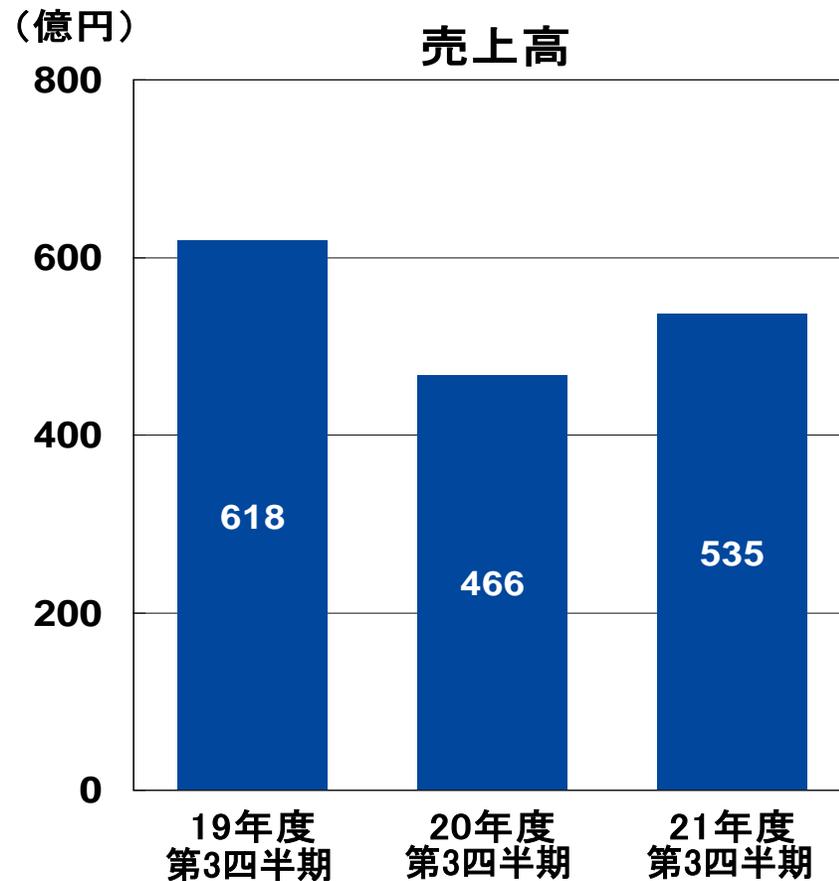
地域別売上高・営業利益(欧州)

- 売上高は、金型・設備の販売増に加え円安による為替換算影響により、60.8%増収
- 営業利益は、2億円の改善

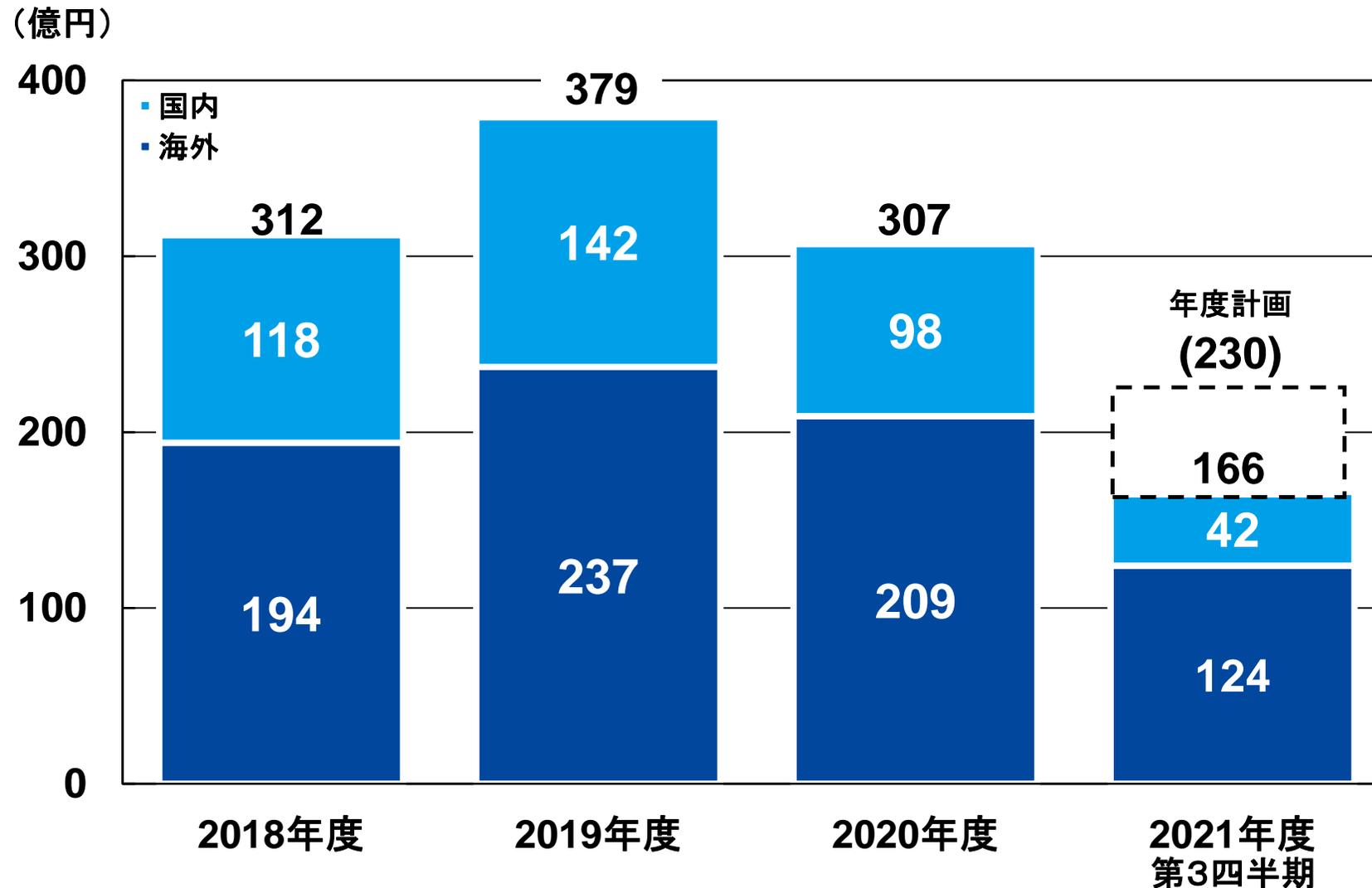


地域別売上高・営業利益(アジア)

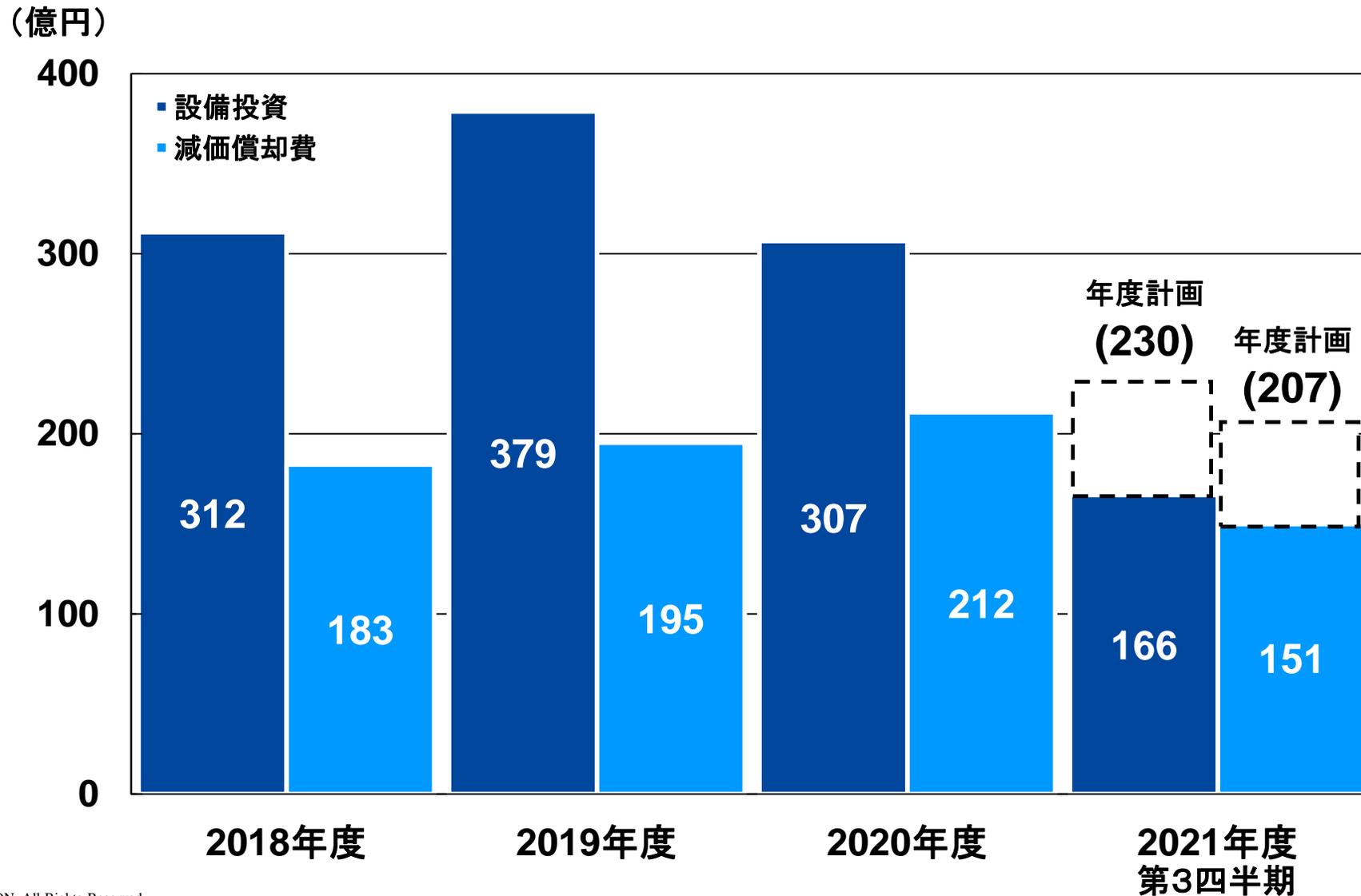
- 売上高は、中国を中心に円安による為替換算影響が寄与したこと等により、14.8%増収
- 営業利益は、中国新拠点のコスト負担等もあり、3億円の減少



設備投資の推移

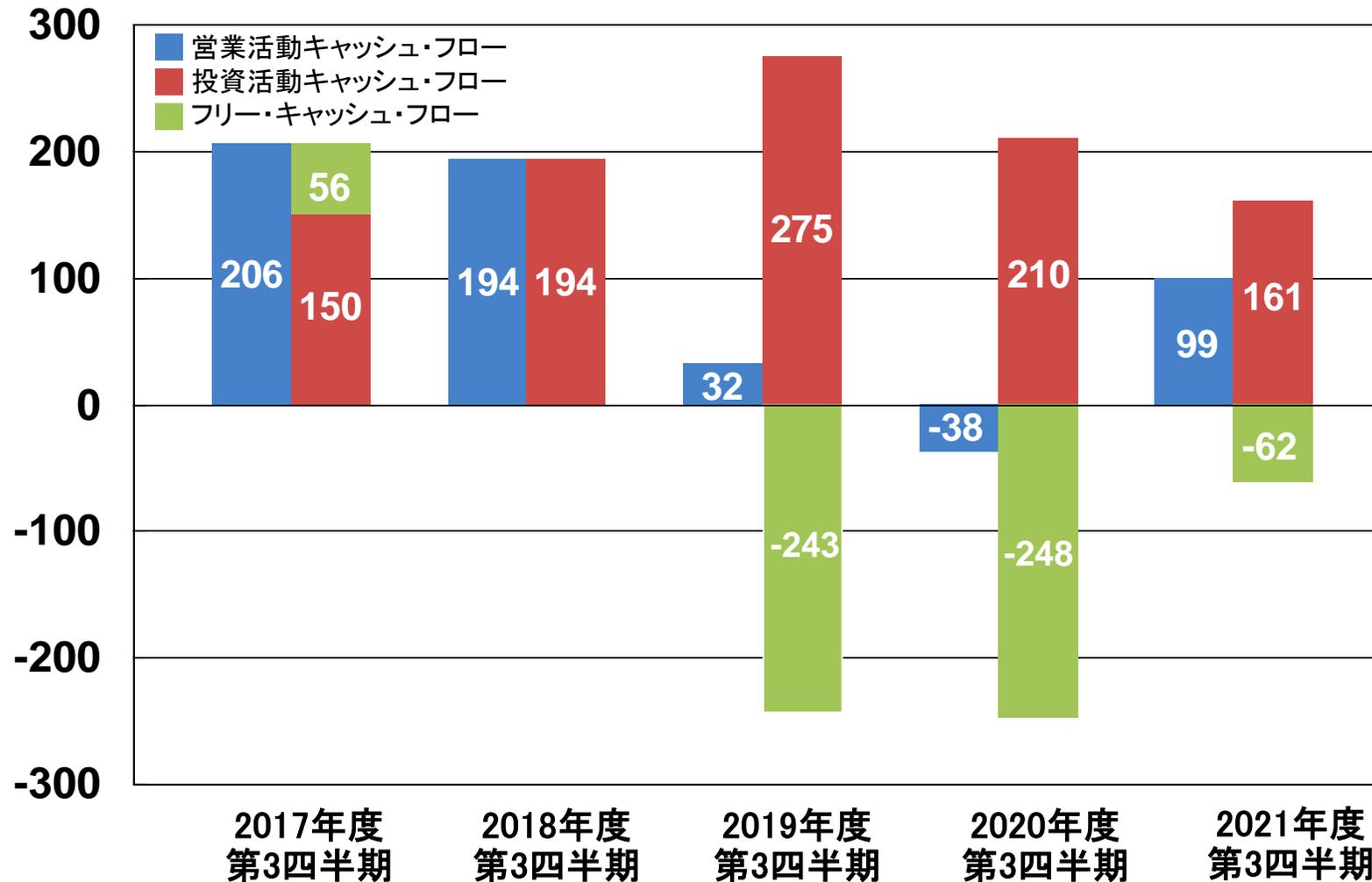


設備投資・減価償却費の推移



キャッシュ・フロー

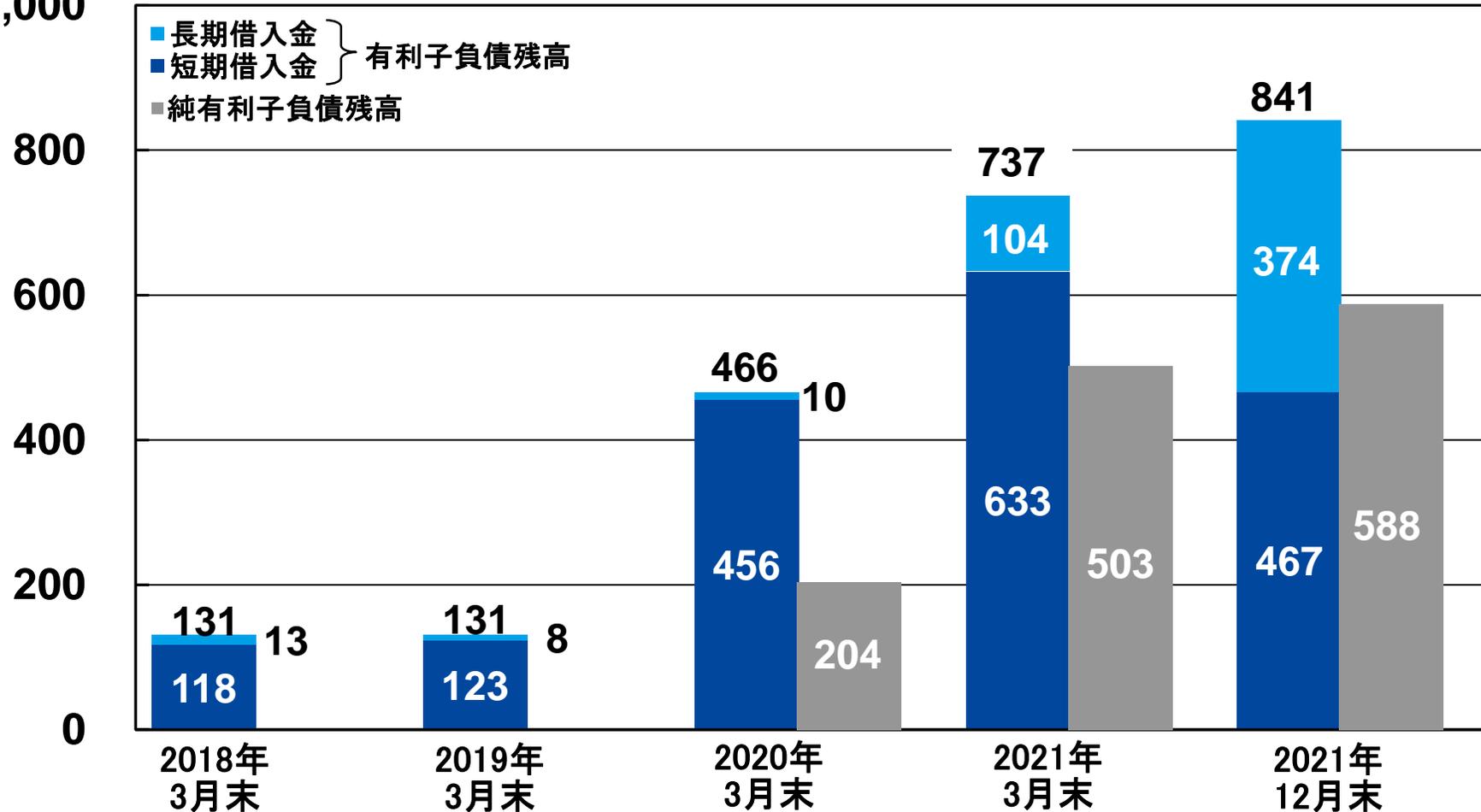
(億円)



有利子負債・純有利子負債残高の推移

- 有利子負債は、前年度末に対して104億円増加
- 現預金を含めた純有利子負債は、588億円

(億円)
1,000



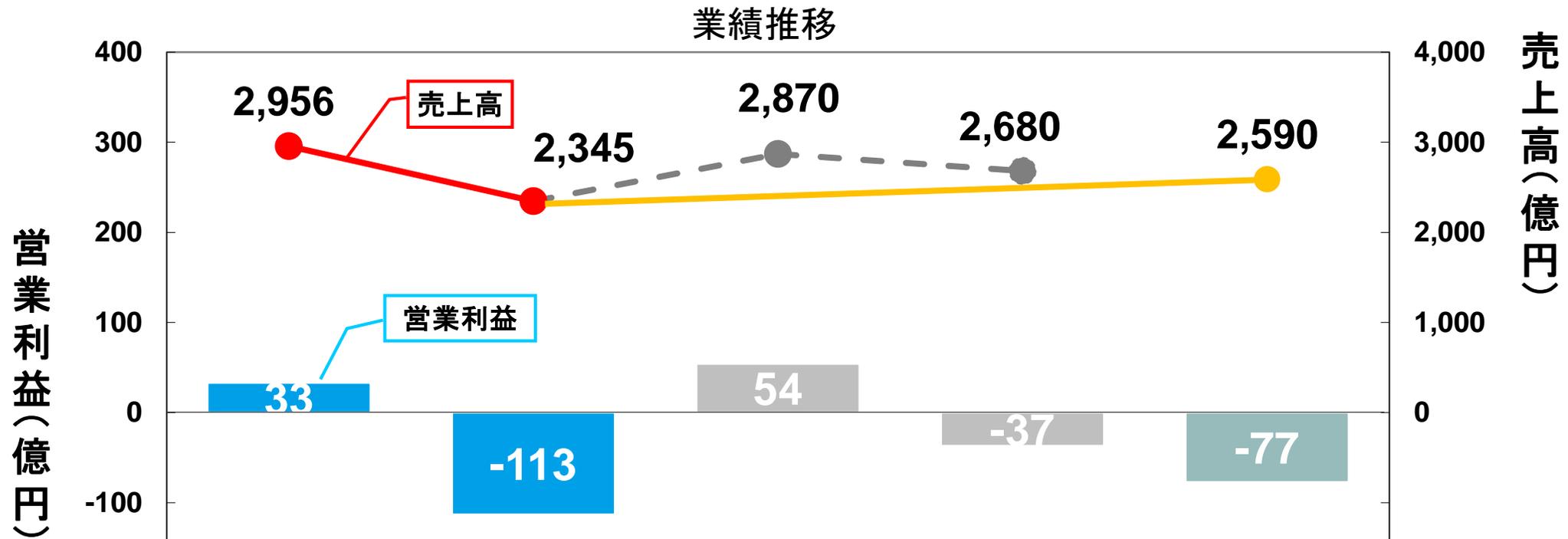


2021年度見通しについて

1. 第3四半期において、半導体の供給不足による影響は前回発表時の想定を超え、第4四半期においても、足元の生産状況は好転には至っておらず、その後の回復シナリオも不透明のため、見通しを下方修正

2. 対前年同期比では、売上高は、足元の半導体不足による得意先の減産影響等はあるものの、得意先の生産、販売の回復により増収。
営業利益は、合理化効果により改善

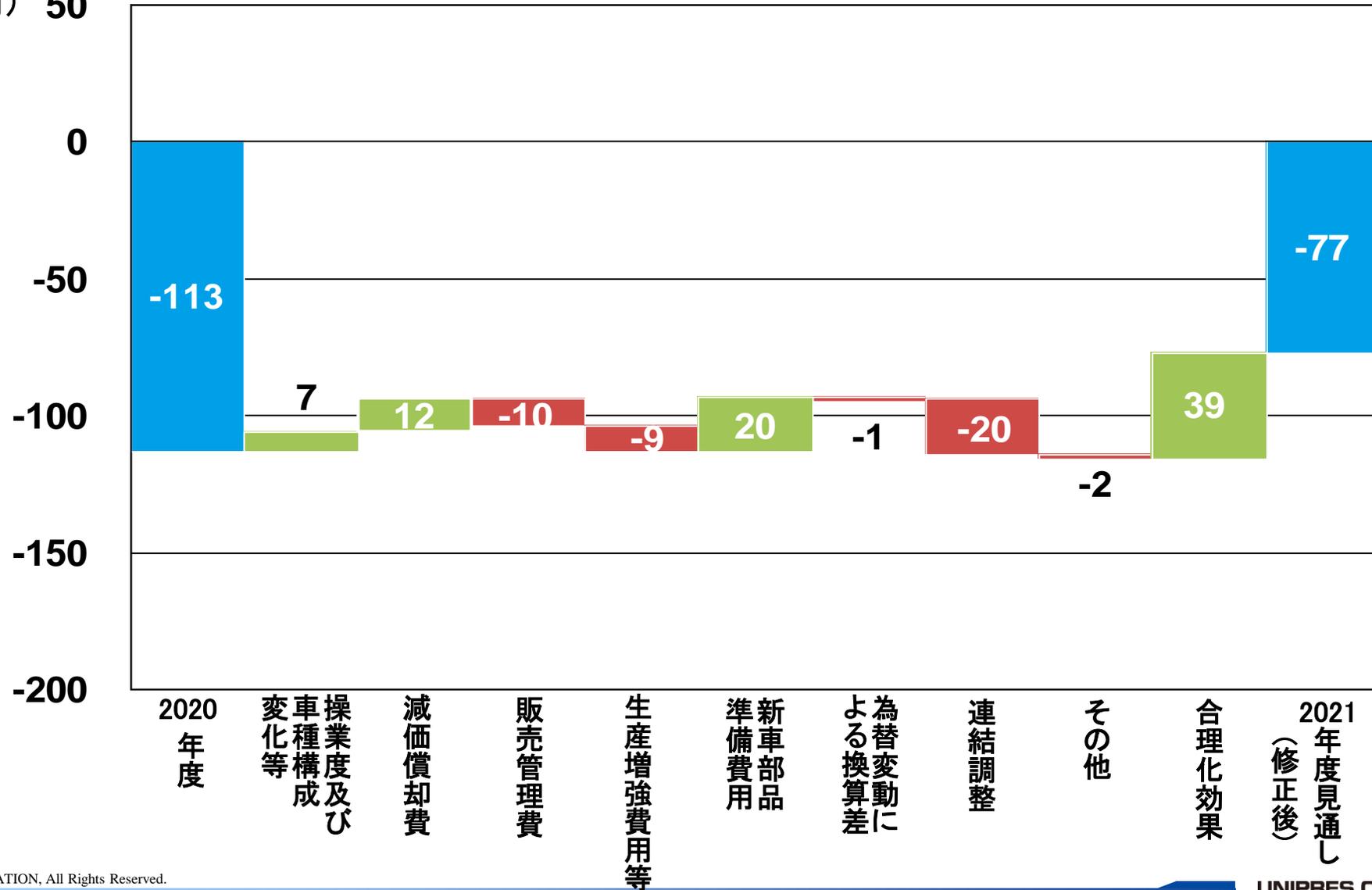
2021年度連結業績見通しサマリー



	19年度	20年度(A)	21年度 当初計画	21年度 修正計画① (11/11修正開示値)	21年度 修正計画②(B) (2/10修正開示値)	(B)-(A)
売上高	2,956	2,345	2,870	2,680	2,590	+245
営業利益	33	-113	54	-37	-77	+36
経常利益	34	-91	41	-24	-50	+41
親会社株主に帰属 する当期純利益	-39	-176	10	-51	-78	+98

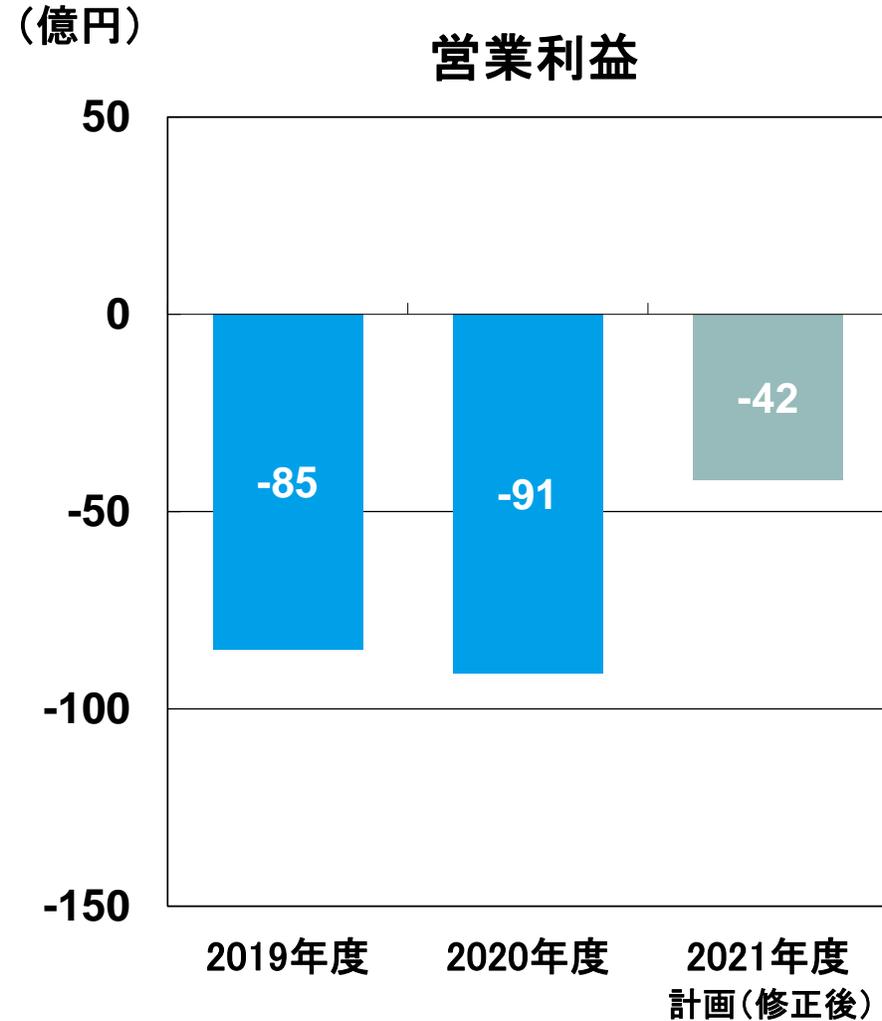
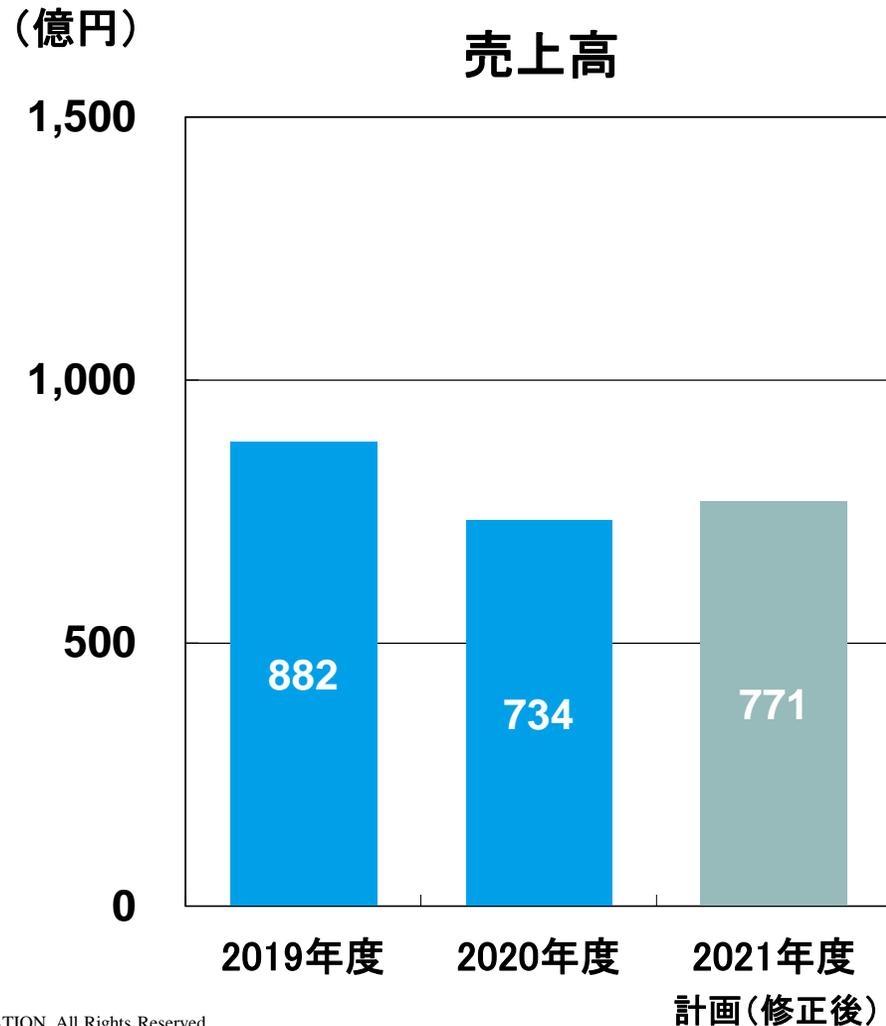
営業利益の増減見通し

(億円) 50



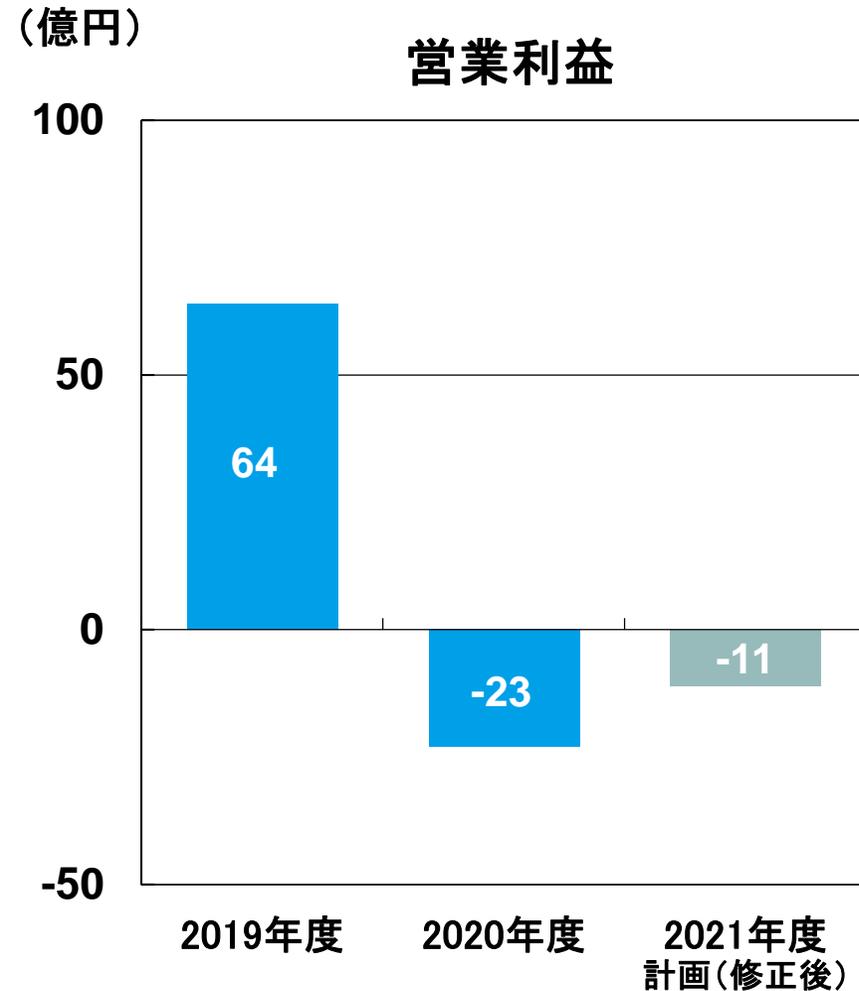
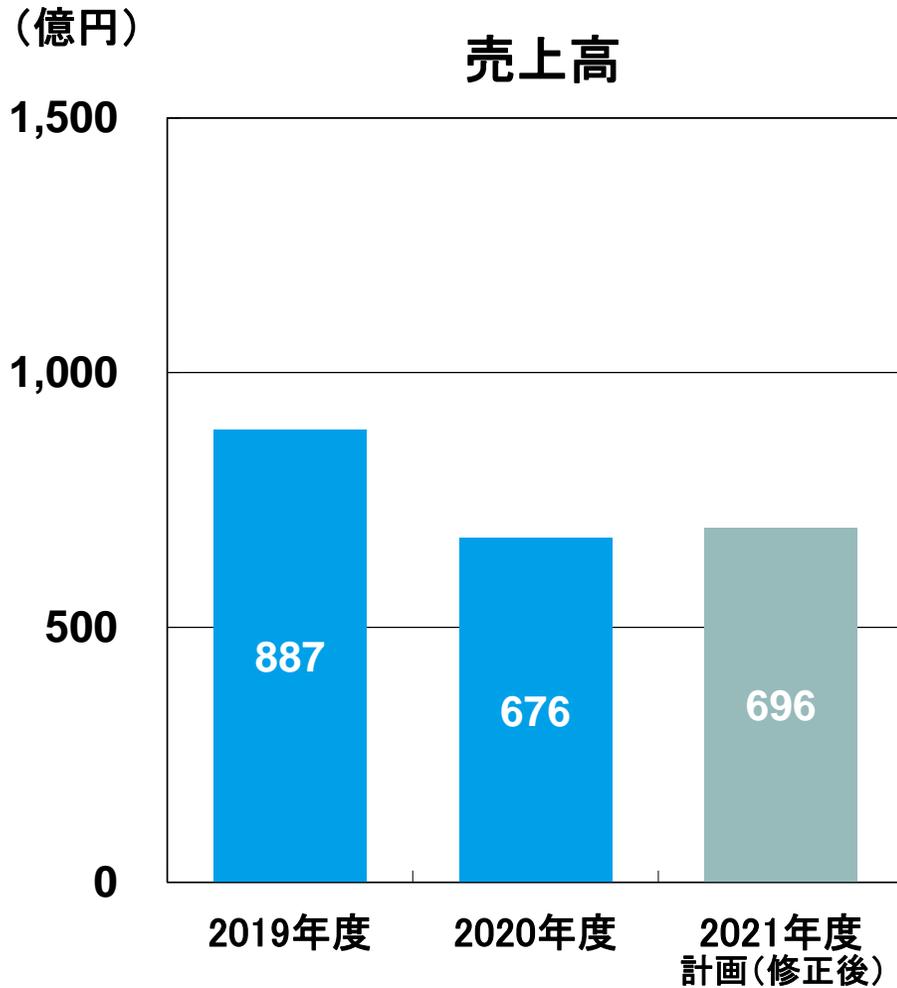
地域別売上高・営業利益(日本)

- 売上高は、増収を計画
- 営業利益は、新車部品立上げ準備費用の削減等により、49億円の改善を計画



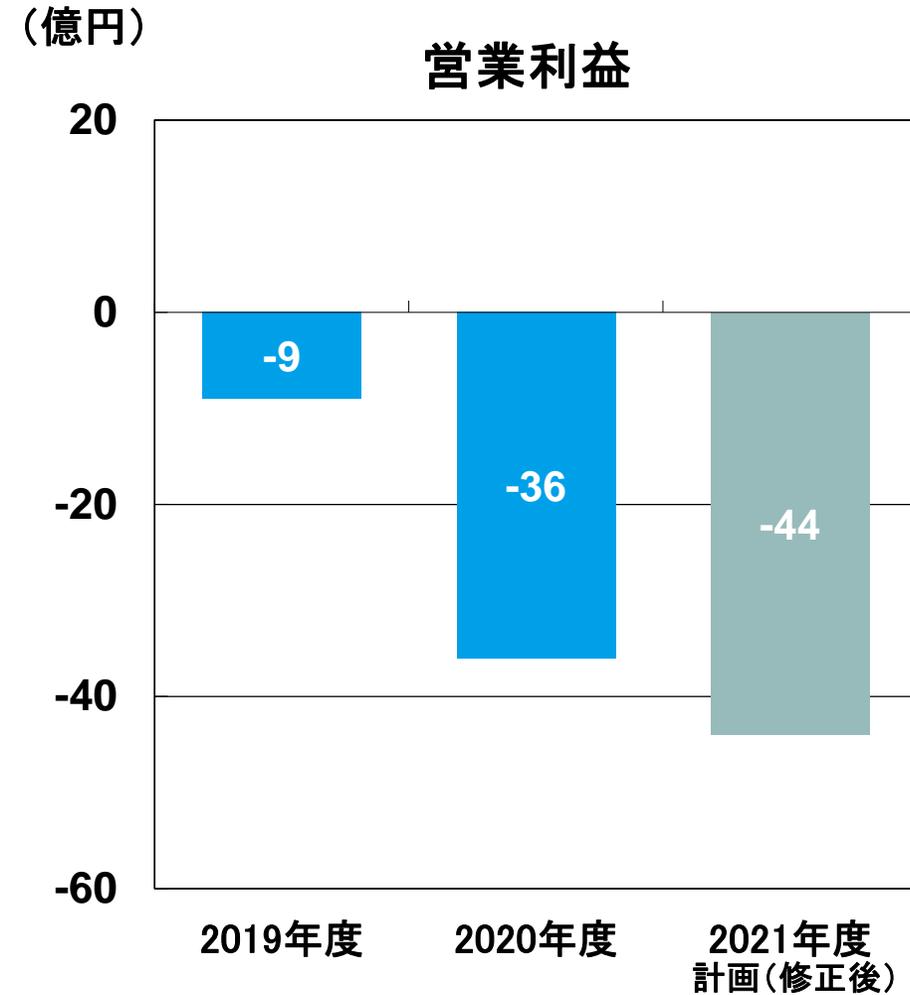
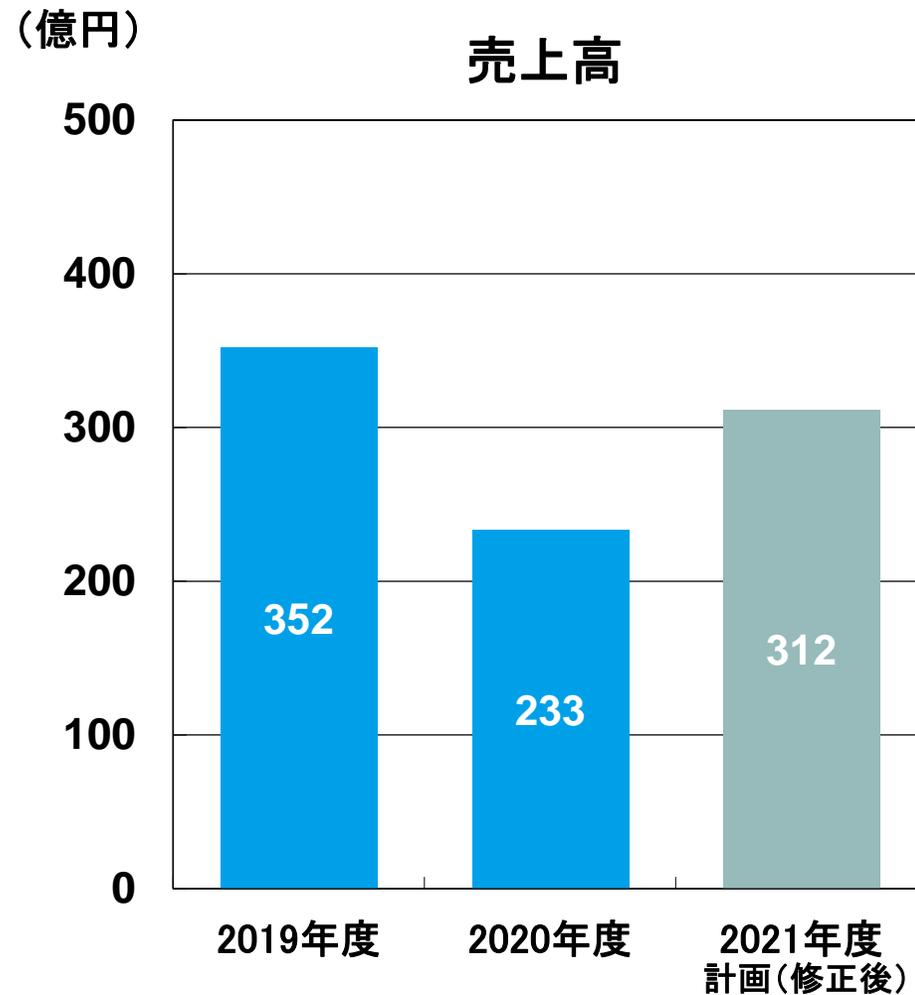
地域別売上高・営業利益(米州)

- 売上高は、得意先の増産影響および円安による為替換算影響等により、微増を計画
- 営業利益は、売上増の影響および合理化効果等により、12億円の改善を計画



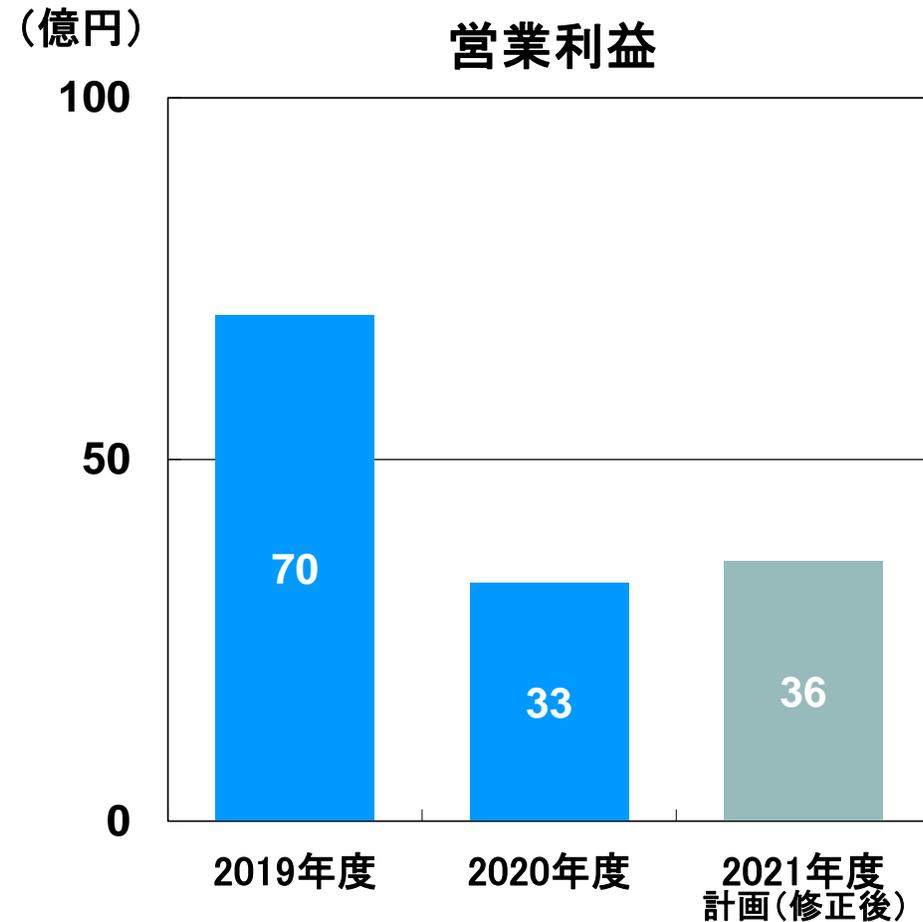
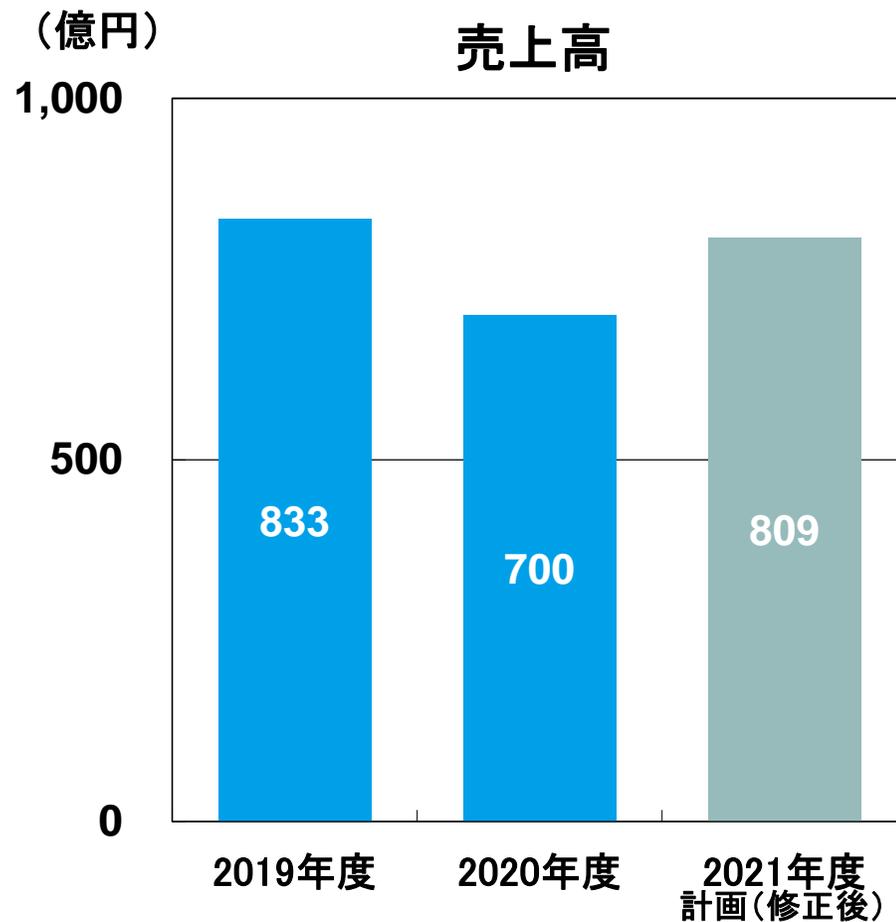
地域別売上高・営業利益(欧州)

- 売上高は、金型・設備の販売増および円安による為替換算影響等により、増収を計画
- 営業利益は、得意先の減産影響等により、減益を計画



地域別売上高・営業利益(アジア)

- 売上高は、中国を中心とした円安による為替換算影響等により、増収を計画
- 営業利益は、得意先の減産影響に加え、中国新拠点のコスト負担等があったものの、売上増の影響および合理化効果により、微増を計画



ESGへの取り組みについて

ESG投資に関する代表的な株価指数である
「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に、
初めて選定されました。（組入開始：2021年12月）

【FTSE Blossom Japan Index とは】

- ・世界でも有数の歴史を持つFTSE Russell※が開発した株価
- ・ESG評価の絶対評価が高い銘柄をスクリーニングし、
最後に業種ウェイトを中立化したESG総合型指数

※FTSE Russellはロンドン証券取引所グループ(LSEG)の完全子会社であり、情報サービス部門を担う。
インデックスの構築と管理において、世界をリードする独立企業。



FTSE Blossom
Japan



UNIPRES

「IR情報メール配信サービス」のご案内

ユニプレスの最新情報をメールでお知らせします。ぜひご登録下さい。

スマートフォンから

二次元コードを
読み取って
登録



パソコンから

ユニプレス
WEBサイト
トップページの
バナーをクリック



一覧を見る > ピックアップ

» 株主優待

» 株価情報

» IR情報メール配信

» お問い合わせ

(円)

	2020年度 第3四半期		2021年度 第3四半期		2021年度 見通し前提	
	期中平均	期末	期中平均	期末	当初	通期
米ドル	105.55	103.52	111.47	115.02	108.00	112.36
ポンド	136.60	136.01	151.03	150.47	150.00	151.91
ユーロ	121.13	124.16	130.28	129.90	130.00	130.36
ペソ	4.92	4.73	5.40	5.46	5.20	5.42
人民元	15.31	15.54	16.87	17.29	16.50	17.13
ルピー	1.42	1.41	1.51	1.54	1.50	1.52
バーツ	3.39	3.34	3.45	3.30	3.50	3.44
ルピア	0.0073	0.0071	0.0076	0.0078	0.0075	0.0077

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- 主要市場(日本、米州、欧州、アジア等)の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- 為替相場の大幅な変動
- 金融・資本市場における金利等の変動 など